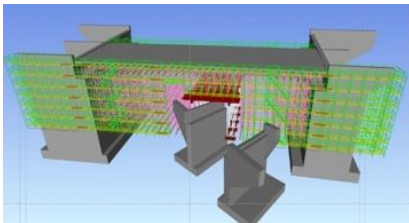


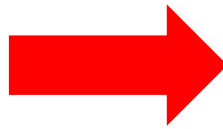
## 次世代足場「Iq システム」、7月10日より BIM サービスとの連携開始

-建設仮設材業界のさらなる安全性向上や、社内の業務コスト 10%削減に寄与

足場をはじめとする仮設機材の開発・製造・販売・レンタルを行う株式会社タカミヤ（以下タカミヤ、本社：大阪市北区、代表取締役会長兼社長：高宮一雅）は、次世代足場「Iq システム」と BIM ソフトを連携したサービスを 7月10日より開始いたします。Iq システムは高い作業性と安全性を備えた次世代足場で、BIM サービスと連携することでさらなる安全性向上に寄与します。BIM サービスは設計部門の主力事業で既に 2019 年秋から導入しており、導入前後で比較したところ社内業務コスト 10%削減しました。



BIM ソフトを活用した仮設計画



仮設材組立完了

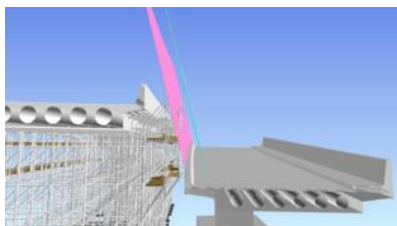
### Iq システム×BIM の特徴

#### ① Iq システムと連携した仮設計画で 10%の業務効率

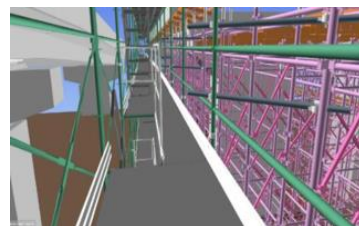
BIM サービスを導入することにより、不具合の早期発見や仮設計画をスムーズに進めることができます。また、仮設工の 3D 設計モデルの中から範囲を選択するだけでその範囲内の仮設機材の数量を算出できる「Takamiya コマンド」という独自のカスタマイズ機能は、通常の方法に比べ BIM ソフトを扱うスキルが相対的に低いユーザーでも容易に扱うことができ、設計担当者に限らず事務職員でも簡単なレクチャーで数量算出が可能となり、社内業務コストの 10%削減を達成しました（当社昨対比）。

#### ② 安全の可視化

3D で仮設計画を行うことで、安全の可視化に繋がります。例えば、道路規制が必要になる俯角 75 度の影響範囲を事前に把握できます。また、作成したモデルによって予め隣接する躯体離隔や、足場の隙間を確認可能です。作成したモデルと実現場との比較を通し、現場の注意喚起や教育資料としての活用も期待されています。



俯角 75 度の検証



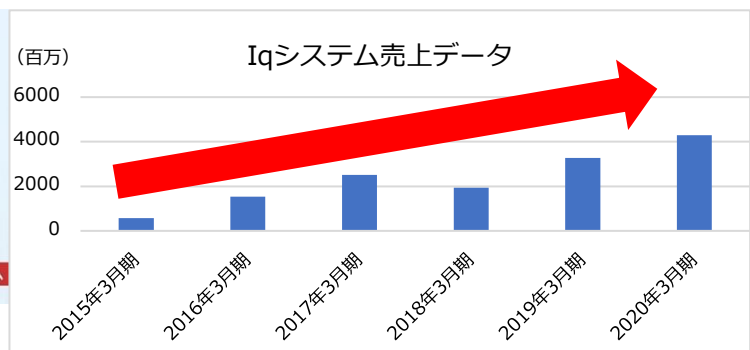
乗り込み口のイメージ

## BIM とは

Building Information Modeling（ビルディング インフォメーション モデリング）の略称で、コンピューター上に作成した3次元の建物のデジタルモデルに、コストや仕上げ、管理情報などの属性データを追加した建築物のデータベースを、建築の設計、施工から維持管理までのあらゆる工程で情報活用を行うためのソリューションであり、また、それにより変化する建築の新しいワークフローです。

## Iq システムとは

階高 1900mm と先行手すり高 1010mm の採用によって、一般的な成人男性（平均身長 172cm）が、屈むことなく通行・作業できる、高い作業性と安全性を備えた次世代足場です。普及が加速し、2020年3月期の販売実績は前年比の31.3%増加。2013年から現在に至るまで多くの顧客から支持を集めています。



## 技術部 担当者コメント

BIM サービスを開始することで作業効率を実現できる他、3Dモデリングを通して若手社員でも仮設計画をイメージしやすくなります。その結果、建築・土木業界の人材不足の課題解決にも寄与いたします。今後はARやVRを活用して、仮設計画での業務効率化・安全の可視化を行っていく予定です。

サービスに関するお問合せ先

株式会社タカミヤ 技術部 T.06 6375 5850

BIM サービス特設ページ <https://www.takamiya.co/bim/>

社名 株式会社タカミヤ

代表 高宮 一雅

本社所在地 大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪 タワーB27 階

URL [www.takamiya.co/](http://www.takamiya.co/)

設立 1969年6月21日 / 資本金 10億5,011万円 / 従業員数 679名 (連結従業員数 1,298名)

事業内容 仮設機材の開発、製造、販売及びレンタル、仮設工事の計画、設計、施工

本件に関するお問い合わせ先

一般の方から

株式会社タカミヤ 経営管理本部 広報・IR 室 川畑・田村 T 06. 6375 3918 pr@takamiya.co

報道関係者から

広報代理：ビルコム株式会社 担当：善本・福田 T 03. 5413 2411 F 03. 5413 2412 takamiya@bil.jp